

土佐清水市で遺留品が返還

日章旗が遺族に返還される

戦没者等の遺留品の返還に伴う調査一式」の委託事業を、厚生労働省から受託している（財）日本遺族会から、当会に対して調査依頼のあった日章旗が、土佐清水市三崎地区遺族会の調査協力により遺族が判明し、令和3年10月に返還されました。



昭和20年、フィリピンだんぎきはつみのルソン島で戦没された段崎初見さん（土佐清水市三崎出身）の日章旗は、米国ハワイ州在住の米国人（クローイ・友美・グリアーさん）の祖父が戦地から持ち帰り、家族で大切に保管されていたものです。

日章旗には、段崎初見さんの武運長久を祈り、35名ほどの方からの寄せ書きがされています。



「日章旗の持ち主を探し出してほしい」という願いが叶わぬまま、今年6月にクローイさんのお父様が亡くなり、葬儀で多忙なクローイさんに代わって、叔母さん（ボニー・マクレガーさん）が、日本兵の遺留品返還活動をしている米国の民間団体「OBONソサエティ」に対し、「ご遺族を探してほしい」と託されました。

OBONソサエティから連絡を受けた日本遺族会の調査で、高知県出身者であるということが判明し、当会へ連絡がありました。

その後、土佐清水市三崎地区遺族会 地区長 吉名征郎よしなせいろう様のご協力で遺族が判明し、10月25日、土佐清水市役所で返還式が行われました。



式には、初見さんの姪御様である土佐清水市の野村季加のむらすえかさんらご遺族8名が出席し、ひじやみつのぶ泥谷光信土佐清水市長から野村さんに日章旗が引き渡されるときにも、ご遺族が判明し、返還ができることに大変感激されたクローイさんからの手紙や、ご自身で描かれた絵なども渡されました。



大石県遺族会長から
クローイさんのお手紙をお渡し



泥谷土佐清水市長から日章旗の返還

この度の返還に際し、泥谷土佐清水市長様、土佐清水市福祉事務所長 井上美樹様、福祉児童係 松本友里様、三崎地区長 吉名征郎様をはじめ、ご協力を賜りました方々に、厚く御礼を申し上げます。



日章旗を受け取ったご遺族は、出征時や戦死の知らせを受けた際のことなどを語り合い、故人を偲びました。